

第 10 回甲状腺検査評価部会資料【抜粋】

※資料 2 及び資料 3 を抜粋

資料 1	【祖父江部会員資料】「福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究」研究成果（循環器疾患の死亡の動向　がんの罹患・死亡の動向）（抜粋）
資料 2	甲状腺検査先行検査と本格検査（検査 2 回目）の実施結果について 添付
資料 3	甲状腺検査集計外症例の調査結果の速報 添付
資料 4-1	【高野部会員・祖父江部会員資料】県民健康調査における甲状腺超音波検査の倫理的問題点と改善案
資料 4-2	【吉田部会員資料】日本の若年者甲状腺癌乳頭癌の臨床像と臨床経過について一文献の紹介—
資料 4-3	【吉田部会員資料】甲状腺微小乳頭癌における超音波検査の有用性
資料 4-4	甲状腺スクリーニングのメリット・デメリット等に関する部会員意見
参考資料 1	第 9 回甲状腺検査評価部会 資料 2-1 及び資料 2-2
参考資料 2	県民健康調査「甲状腺検査（先行検査）」結果概要
参考資料 3	県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査 2 回目）】」結果概要<平成 29 年度追補版>
参考資料 4	甲状腺検査のお知らせ（対象者あて検査案内文）及び検査同意確認書兼問診票

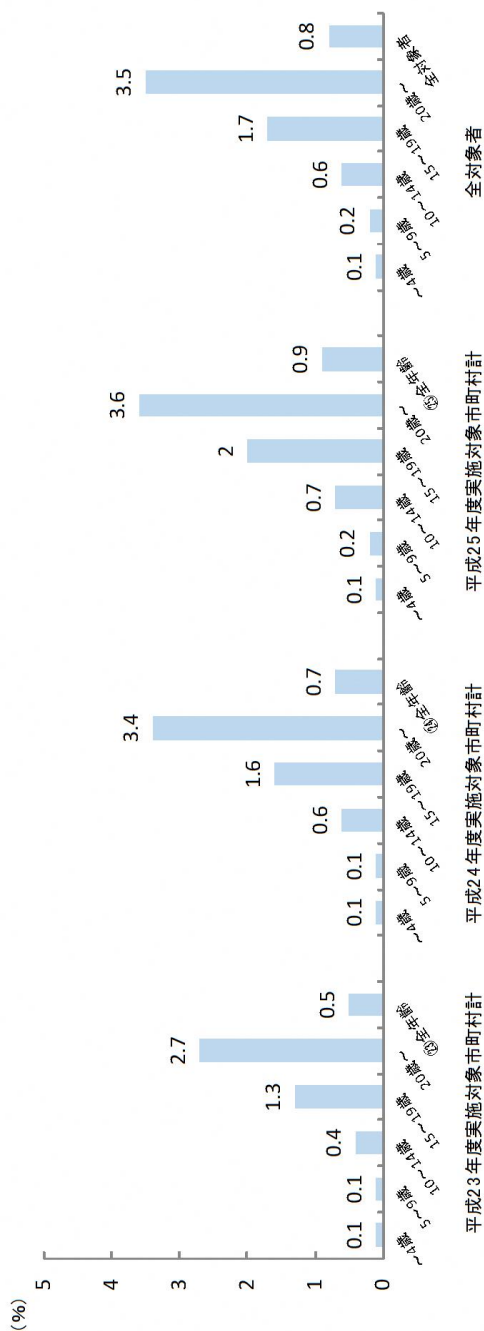
甲状腺検査先行検査と本格検査（検査2回目）の実施結果について

1. 二次検査対象者数の割合

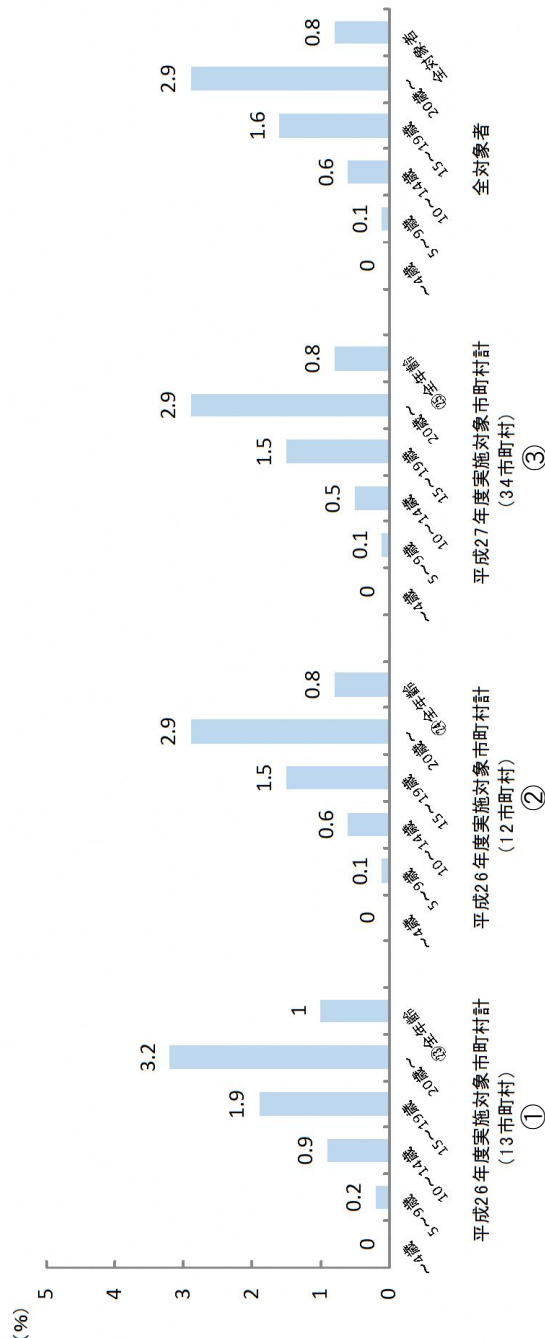
（「先行検査結果概要（平成28年度追補版）」・「本格検査（検査2回目）結果概要<確定版>」表1関係）

○一次検査結果判定者数に占める二次検査対象者数の割合（一次検査時の年齢階級別）

【先行検査】



【本格検査（検査2回目）】

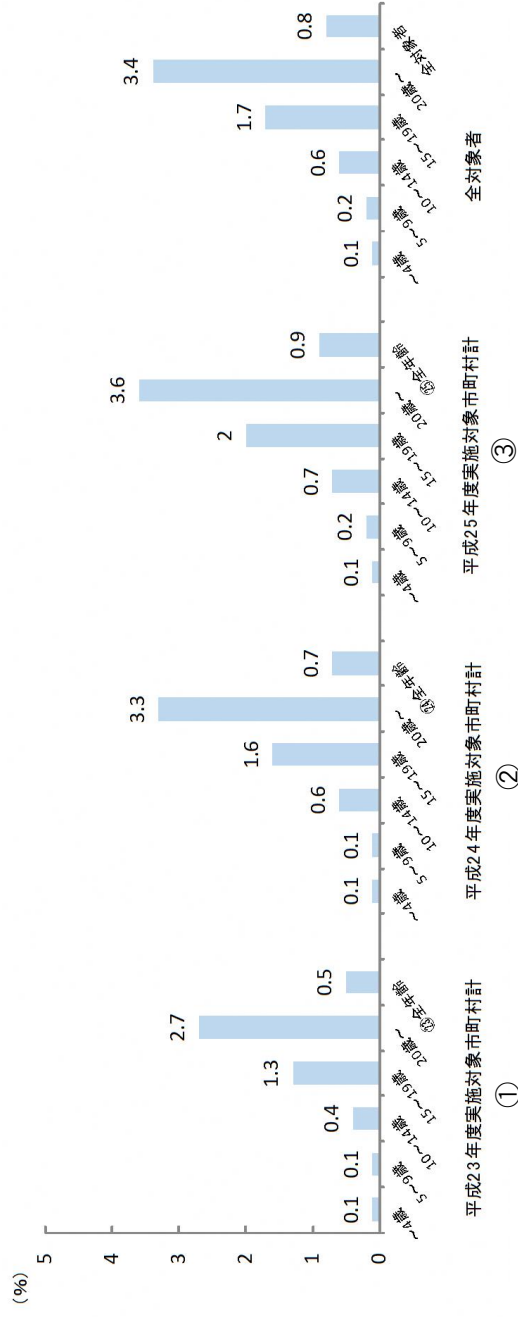


2. 結節の割合

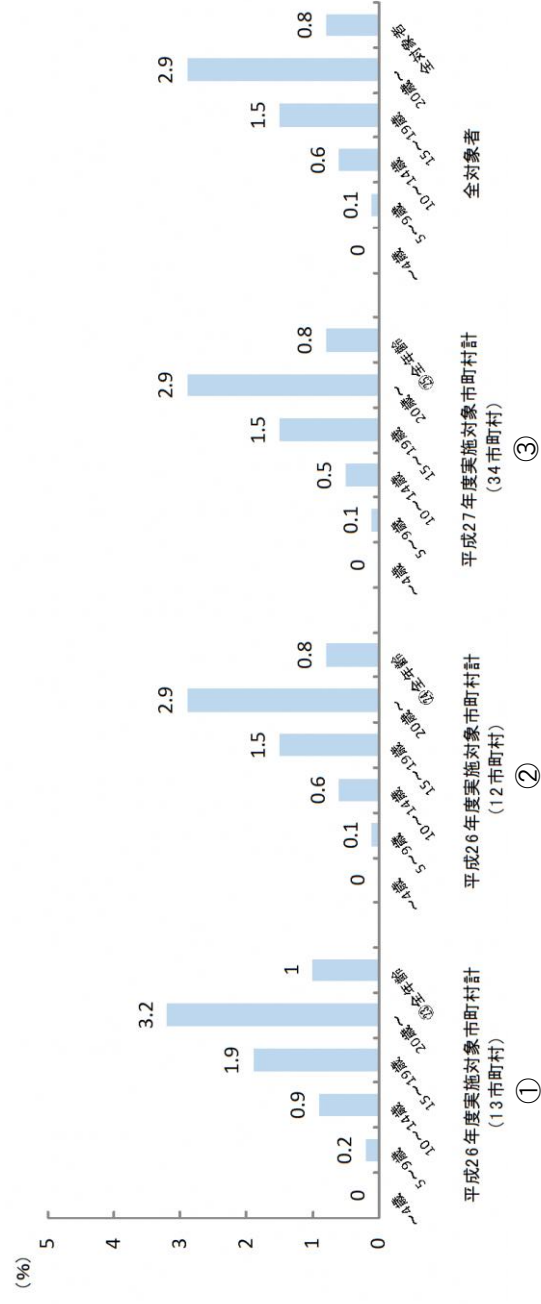
(「先行検査結果概要(平成28年度追補版)」・「本格検査(検査2回目)結果概要<確定版>」表2関係)

○一次検査結果判定者数に占める結節5.1mm以上の方の割合(一次検査時の年齢階級別)

【先行検査】

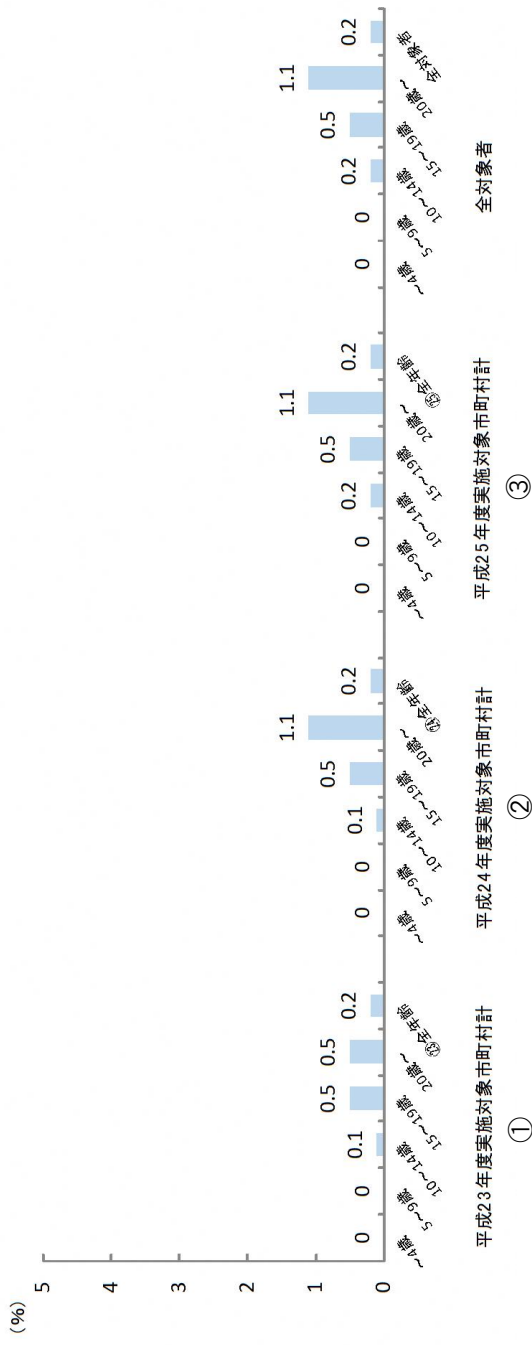


【本格検査(検査2回目)】

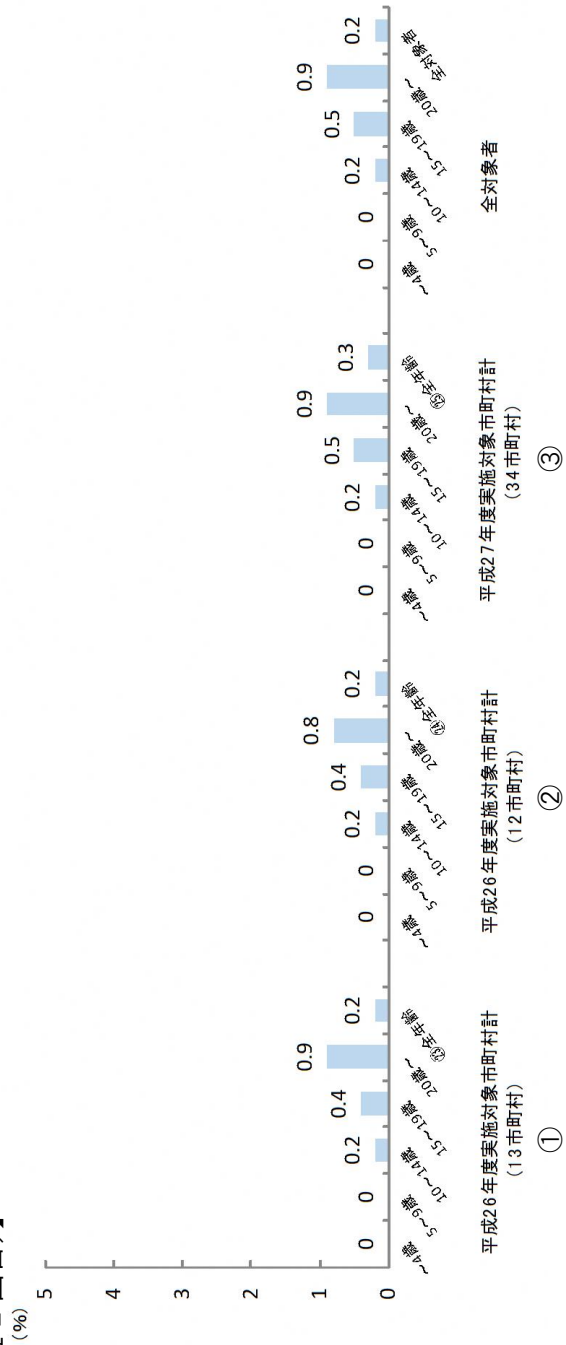


○一次検査結果判定者数に占める結節 10.1mm 以上の方の割合（一次検査時の年齢階級別）

【先行検査】



【本格検査(検査2回目)】

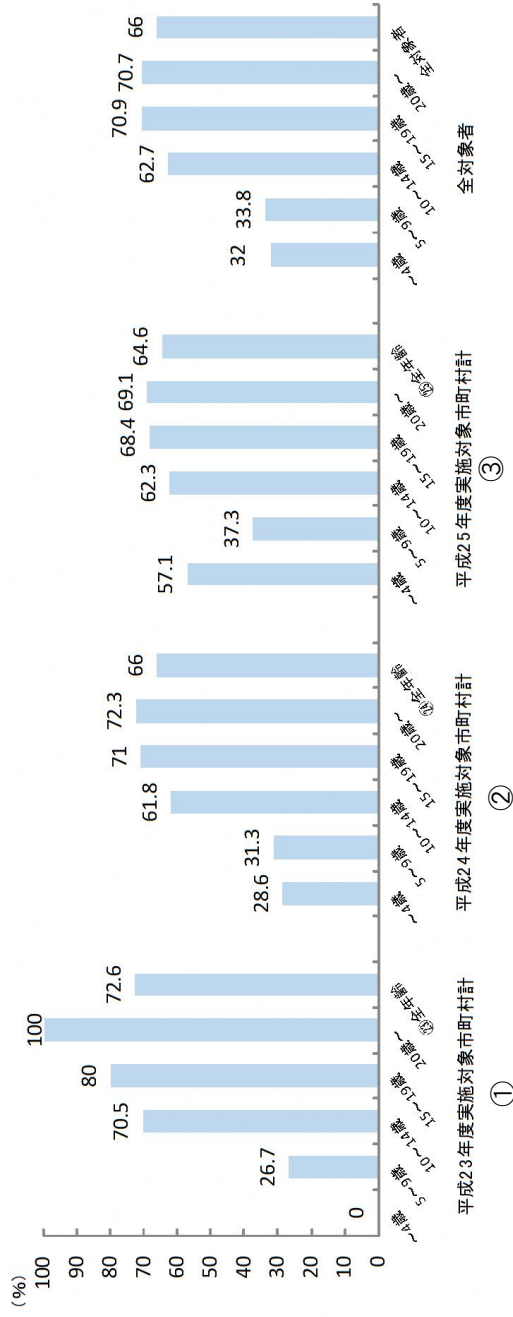


3. 二次検査関係の各種割合

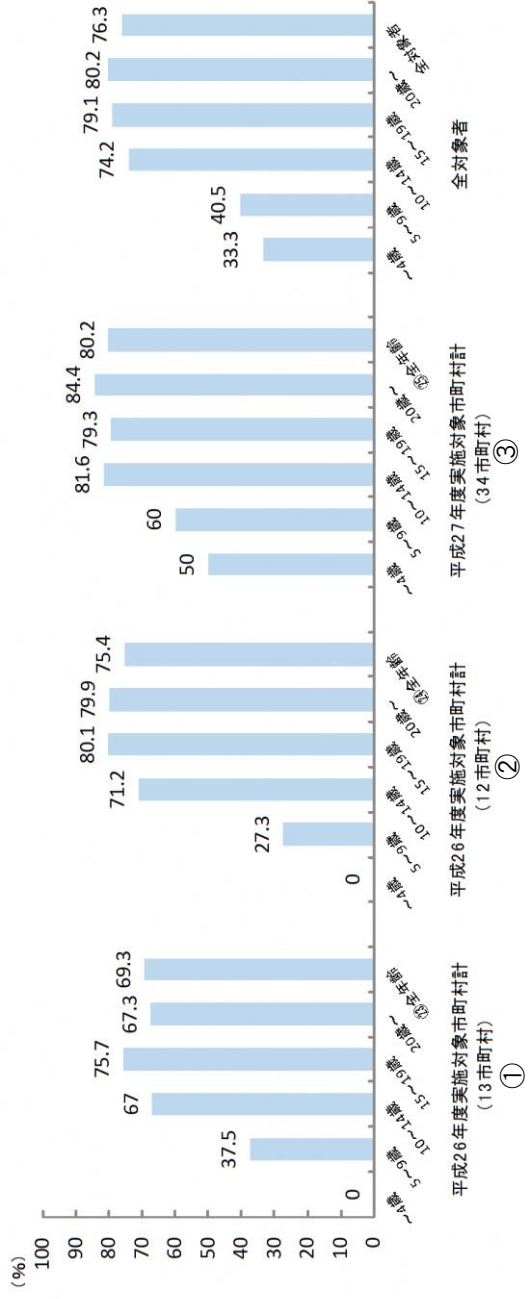
(「先行検査結果概要 (平成 28 年度追補版)」表 3・「本格検査 (検査 2 回目) 結果概要<確定版>」表 5 関係)

○二次検査結果確定者数のうち、結果が A1・A2 相当以外の方の割合 (一次検査時の年齢階級別)

【先行検査】

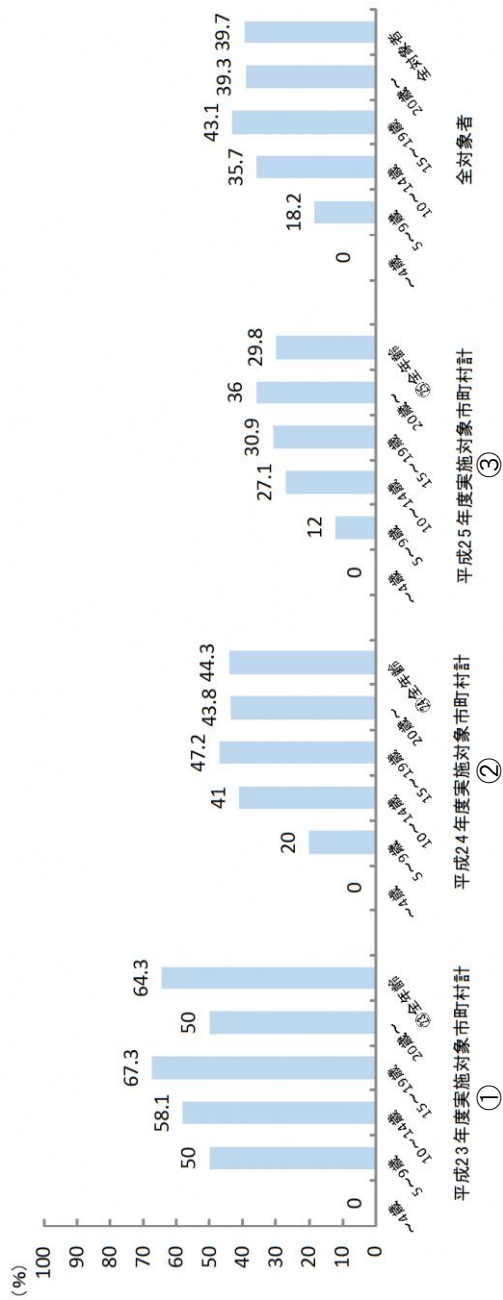


【本格検査 (検査 2 回目)】

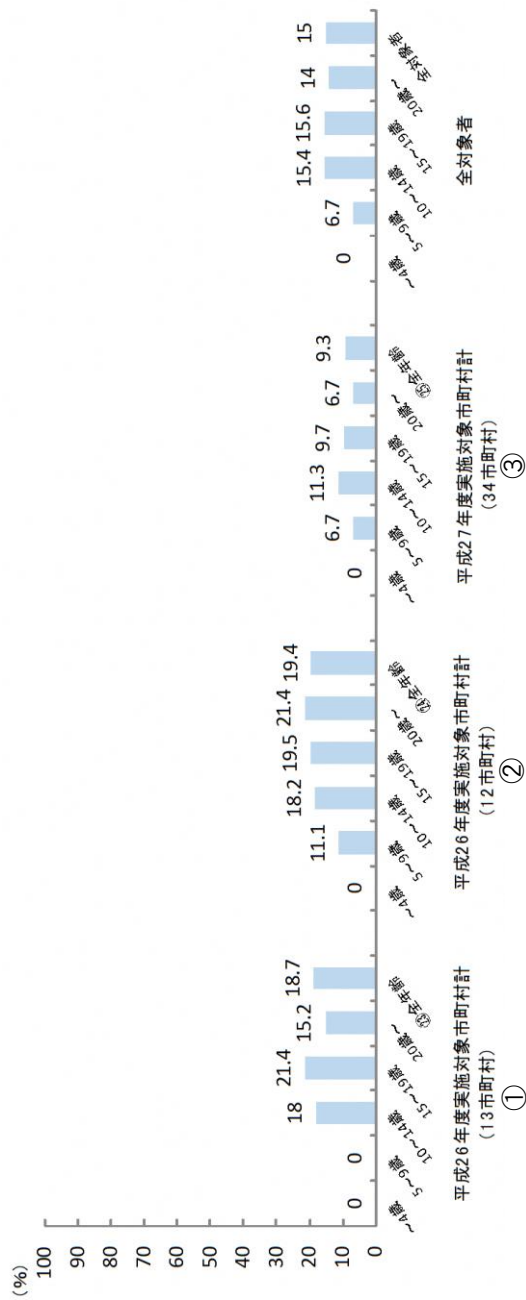


○二次検査結果が A1・A2 相当以外の方のうち、細胞診受診者の割合（一次検査時の年齢階級別）

【先行検査】

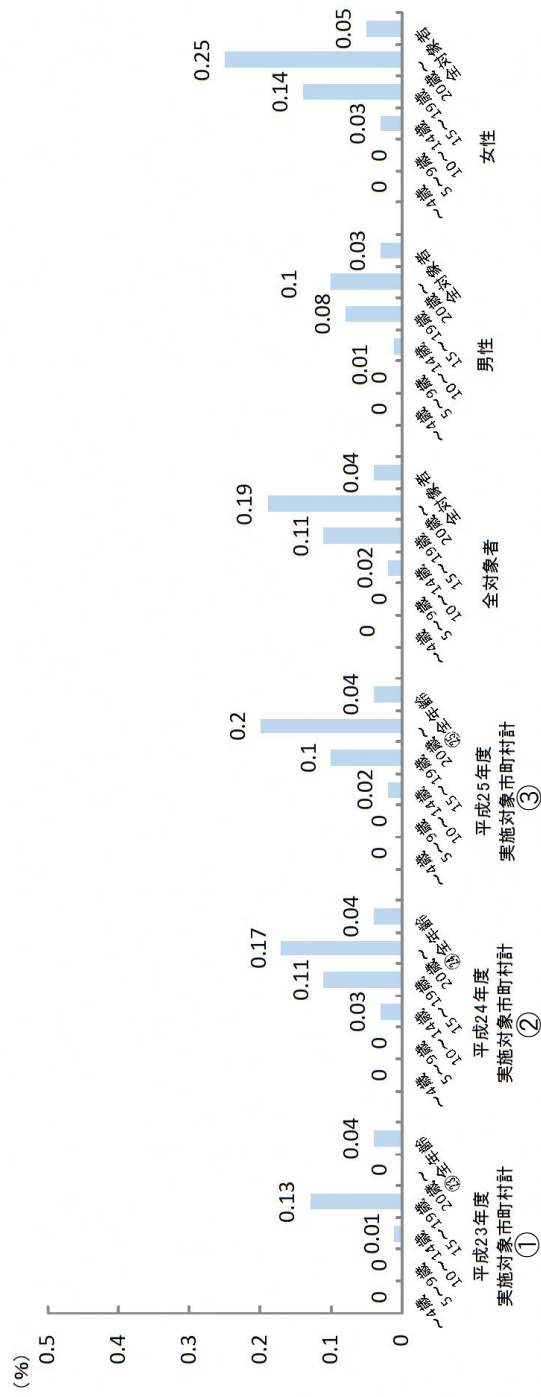


【本格検査(検査2回目)】

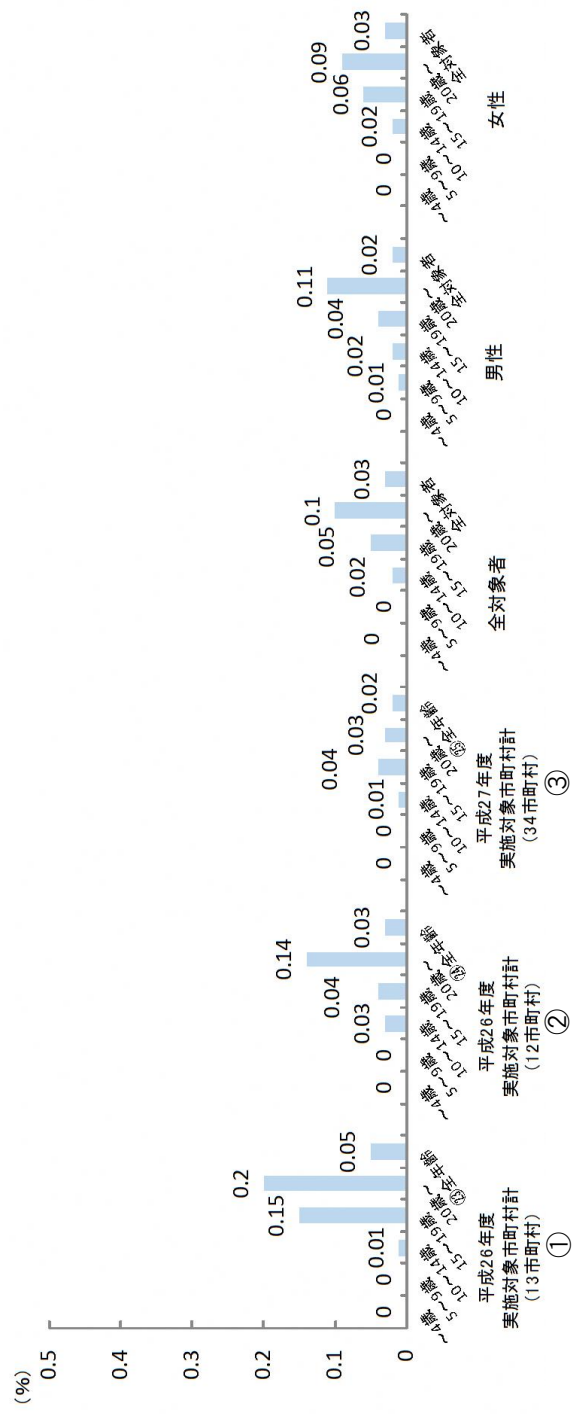


○一次検査結果判定者のうち、悪性ないし悪性疑い者の割合（一次検査時の年齢階級別）

【先行検査】



【本格検査(検査2回目)】



※先行検査の平成23年度実施対象市町村の対象者が、平成24年度又は25年度に受診している場合や、平成25年度実施対象市町村の対象者が平成23年度や24年度に前倒しで受診している場合がある。本格検査も同様。(〇〇年度実施対象市町村は、全59市町村を年度で区分したものであり、必ずしも実際の受診年度を指すものではない。)

- ①13市町村：川俣町、浪江町、飯館村、南相馬市、伊達市、田村市、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、葛尾村
- ②12市町村：福島市、二本松市、本宮市、大玉村、郡山市、桑折町、国見町、天栄村、白河市、西郷村、泉崎村、三春町
- ③34市町村：いわき市、須賀川市、相馬市、鏡石町、新地町、中島村、矢吹町、石川町、浅川町、平田村、棚倉町、埴町、鮫川村、小野町、玉川村、古殿町、檜枝岐村、南会津町、金山町、昭和村、三島町、下郷町、喜多方市、西会津町、只見町、猪苗代町、磐梯町、北塩原村、会津美里町、会津坂下町、柳津町、会津若松市、湯川村

※本データでは各群内の年齢構成および性別等の調整を行っておりません。

甲状腺検査集計外症例の調査結果の速報

福島県立医科大学
甲状腺・内分泌センター長
横谷 進

【背景】

甲状腺検査の集計外であるために検討委員会に報告されていなかった症例の存在が報道されたことにより、集計外の症例が多く存在するのではないか、との疑問が投げかけられた。

【目的】

福島県立医科大学付属病院（以下、医大病院）で診療した、甲状腺検査集計外の甲状腺がんの症例を全数調査し、現行の甲状腺検査において甲状腺がんがどの程度把握されているかを検討する。

【方法】

1. 医大の倫理委員会による承認を取得した。
2. 甲状腺検査対象者*のうちで、2011年10月9日～2017年6月30日に医大病院で甲状腺がんの手術を受けた患者を抽出して患者一覧表を作成した。
* 1992年4月2日～2012年4月1日に出生した震災時県内在住者
3. 各患者について放射線医学県民健康管理センター甲状腺検査室に甲状腺検査における受診状況を照会した。
4. 「2.」の患者一覧の中で、「3.」により集計内、および、集計外とされた患者を確定した。

【結果】

1. 医大病院で甲状腺がんとして手術を受けた患者（「2.」）：160人（良性2人を含む）
2. そのうち、同じ期間に県民健康調査 甲状腺検査で「悪性ないし悪性の疑い」として集計されていた患者：148人（良性1人を含む）
集計されていなかった患者：12人（良性1人を含む）
3. 集計外の患者12人のうちの悪性11人について

(1) 甲状腺検査との関係による内訳

甲状腺検査とは無関係に受診した患者	3人	甲状腺検査を契機とした受診：8人
一次検査でB判定、二次検査を経由せずに受診した患者	1人	
二次検査から保険診療による経過観察を経て手術された患者 ↳内訳：二次検査で穿刺吸引細胞診実施せず5人 穿刺吸引細胞診実施し「悪性/悪性疑い」以外2人	7人	

(2) 性別内訳 男性：4人、女性：7人

(3) 年齢

① 事故時年齢：13.8 ± 4.0 歳

(0-4 歳：1、5-9 歳：1、10-14 歳：4、15-19 歳：5)

② 二次検査受診時年齢（二次検査未受診の場合は医大初診時年齢）：16.8 ± 4.0 歳

(5-9 歳：1、10-14 歳：3、15-19 歳：3、20-24 歳：4)

(4) 震災時住所の4方部別内訳

避難区域等13市町村：4人、中通り：4人、浜通り：3人、会津地方：0人

【まとめ】

1. 2017年6月30日時点で医大病院の集計外症例を全数把握した。
2. 同日時点で甲状腺検査の細胞診により「悪性ないし悪性の疑い」と診断された対象者数（良性1人を除く）が193人であったのに対し、医大病院において手術を受け甲状腺がんと診断された患者数は158人（内、集計内147、集計外11）であった。